

檄

選挙戦は厳しさを増している！ 組織固めを再徹底して、全力を出しきろう！

第23回参議院選挙もいよいよ選挙戦の終盤を迎えた。21日の投票日まで残り5日間となった。猛暑、豪雨などの厳しい天候が続く中、全国各地でご奮闘いただいている構成組織、地方連合会の仲間の皆さんに心から敬意を表する。

マスコミの調査では、選挙戦序盤から与党に有利な流れが形成される中、民主党候補者はますます厳しさを増している。選挙区で連合が推薦している民主党候補者の多くは、最後の一議席をかけて他党候補者と争っている。また、比例代表9名の候補者は、混戦状態でひしめき合っている。残り5日間の取り組みが連合推薦候補者の勝利の鍵を握る。

連合推薦候補者の勝利に向けて、すべての構成組織、地方連合会は、選挙区・比例区の個人名の徹底に万全を期し、組織内部固めを再徹底していただきたい。また、期日前投票の取り組み等の加盟組織への指示の徹底について、至急再点検することを要請する。

＜構成組織、地方連合会が加盟組織への指示の徹底を再点検する内容＞

- ①比例代表における連合組織内候補者9名と選挙区の連合推薦候補者の個人名を周知・徹底し、点検すること
- ②職場において組合員全員による期日前投票を徹底し、点検すること
- ③家族揃って投票に行くことを徹底すること
- ④厳しい情勢を踏まえ、電話、インターネット（電子メールを除く）を使って、友人・知人に連合推薦候補の応援を依頼すること

これまで繰り返し述べてきたが、衆議院で圧倒的な議席を持つ自公が参議院でも過半数議席を超えるとすると、強大な政治権力が誕生することとなる。強大な勢力を牽制できない政治は危険である。

参議院選挙後、安倍政権は強大な権力を背景に、先延ばししてきた労働者保護ルールの改悪を断行できることとなる。このため、労働者は容易に解雇され、労働者間の格差は大きく広がり、多くの労働者の生活が苦しくなることは明白である。

こうした事態を打開するには、何としてでも自公の過半数議席獲得を阻止し、野党である民主党候補者の一人でも多くの勝利をめざさなければならない。

残り5日間、組織の内部固めに徹し、できることはすべてやり遂げて、逆境を跳ね返そうではいか。働く仲間のみなさんのより一層の奮起を期待する。

2013年7月16日
日本労働組合総連合会

会長 古賀伸明